

国際教育文化政策論

Policy on Culture and Education

| | | | | | |
|-------------------------|---|-----|-----|--------|--------------------|
| 2学期 金曜日 3・4時限 講義室：7A204 | | | | | |
| 担当教員 | 溝上 智恵子 | 研究室 | 504 | オフィスワ- | 金曜日 15:00~16:00 |
| 科目の概要 | アメリカとカナダを中心に、学校、図書館や博物館といった教育文化施設において提示される情報を通じて、民族アイデンティティの形成過程を歴史的に深く検証する。さらに現在の状況を踏まえ、教育文化政策の在り方を情報伝達の側面から理論的に論じる。 | | | | |
| 授業予定 | <ol style="list-style-type: none"> 1 イントロダクション 2 ナショナリズム、多文化主義について 3 アメリカの社会、文化と民族政策：歴史的始点から 4 アメリカの図書館と民族政策 5 アメリカの博物館と民族政策：移民国家アメリカ 6 アメリカの博物館と民族政策：先住民と博物館 7 カナダの歴史 8 カナダの社会、文化と民族政策 9 カナダの図書館と民族政策 10 カナダの博物館と民族政策 11 博物館誕生：アメリカ、カナダと日本の接点 12 まとめ | | | | |
| 達成目標 | アメリカやカナダの社会発展と教育文化施設の歴史的変遷の概要を学ぶ。 なかでもナショナリズムや多文化主義という民族政策をめぐる思想に関する知識をベースに「教育」の意味を重層的に考える態度を身につける。 | | | | |
| 評価の方法 | 受講中の意見発表、レジュメ、学期レポート等を総合的に評価する。 | | | | |
| 教科書または参考書 | 教科書：授業で読む文献はコピーを配布する 参考書：溝上智恵子『ミュージアムの政治学』東海大学出版会 | | | | |
| テレビ会議システムの利用 | 無 | | | | |
| その他 | 受講者は各自毎回指定された文献のレジュメを作成し、授業はそれをもとに意見交換する形で進めます。 | | | | |